

2023 年 11 月 1 日

内閣総理大臣
岸田文雄殿

生活協同組合パルシステム神奈川
理事長 藤田順子

**イスラエルとパレスチナにおける武力行為の即時停止と人道支援に向けた積極的な関与、
平和的解決に向けた各国への働きかけを強く求めます**

私たちは、「生命(いのち)を愛(いづく)しみ、自立と協同の力で、心豊かな地域社会を創り出します」を理念に掲げ、事業と活動に取り組んでいる生活協同組合です。

パルシステム神奈川では、パレスチナの農民によって生産されるオリーブオイルを通じた民衆交易や交流、現地で人道支援をする諸団体と連携した学習会企画などを通じて、生産者と消費者の相互理解を深め、イスラエルとパレスチナ地域に平和が続くことを願ってきました。

しかし、10 月 7 日からのイスラエルとパレスチナ双方における武力行為により短期間でこれまでにない規模の民間人の犠牲者がでてしまいました。パレスチナのガザ地区をめぐる情勢が緊迫する中、さらにヨルダン川西岸でもイスラエル治安部隊などと衝突し、これまで 100 人以上の犠牲者がでていっているとされています。また、イスラエルは、10 月 25 日にガザ地区北部へ侵入し、限定的とはいえ軍事施設などの破壊行為が行われました。この破壊行為後ガザ地区から引き揚げたとしていますが、その後も断続的に行われており、これらの行為が相互にエスカレートすると、民間人に壊滅的な被害をもたらすことが懸念されます。この凄惨な事態を止めるためには、なによりも双方の武力行為の即時停止が必要です。

本来であれば国連が武力行為の即時停止に向け積極的な介入をすべきですが、残念ながら安全保障理事会が機能不全に陥っており、それが期待できない状況です。

パルシステム神奈川は、日本国政府として一刻も早い武力行為の停止の実現へ向けた積極的な関与と、すべての人々が継続的に安心して過ごせる生活を早急に取り戻すための人道支援、対話による平和的解決を図るための迅速な実行と積極的な関与で、国際社会の一員としての役割を発揮することを強く求めます。

私たちパルシステム神奈川も平和の実現を求める取り組みをさらに強めてまいります。

以上